

# Y S W J 親善試合 規約

## 第一条 (名 称)

この親善試合の名称は、Y S W J 親善試合という。

[ Y S W J : Yokohama / South / West / Junior ]

## 第二条 (対 象)

小学生 4 年生以下「原則」を対象とする。

※尚、各チーム事情を考慮し 5 年生 3 人登録・2 人までの出場を認める。

**但し 5 年生の起用は 4 年生以下の人数不足による救済措置として考え、補強目的で起用しないことを厳守する。**

## 第三条 (行 事)

本戦は、ブロックリーグ戦にて行う。

ブロックの順位決めは勝ち点制で行う。[勝ち：3 点, 分け：1 点, 負け：0 点]

**ブロックリーグ戦で試合ができなかった試合数に応じ事務局協議の上対応を定める。**

**— 1 試合：— 勝ち点を 1 点減**

**— 2 試合：— 勝ち点を 2 点減 — 決勝トーナメント不戦敗**

**— 3 試合：— 勝ち点を 3 点減 — 決勝トーナメント不戦敗 — 次年度登録不可**

**また決勝トーナメントの棄権時も同様に事務局協議の上対応を定める。**

**— ※なお本規則は 2019 年の試行とする。 —**

なお、同点の場合は以下の順番にて上位チームを決める。

① 勝ち数の多いチーム、② 直接対決の勝者、③ 総失点の少ないチーム、

④ 総得点の多いチーム、⑤ 抽選

ブロックの順位によって各クラス別トーナメント戦を行う。

## 第四条 (事務局)

事務局を若干名おく。

## 第五条 (参加費)

参加費は、500 円とする。

※ 合同チームで参加する場合は構成する各チーム分の参加費となります

(例) 2 チーム合同の場合、参加費は 2 チーム分の 1000 円となります)

※ トーナメント優勝・準優勝チームにはトロフィー及び賞状を進呈する。

# Y SW J 親善試合 競技運営細則

## 1. 試合要項

(1) 試合は **6 回戦**とし延長戦は行なわない。

(2) 1時間20分の制限時間を定め、新しいイニングには入らない。

但し、グラウンド使用時間に制約が有る場合はグラウンド提供責任者が試合開始前、当該チーム責任者に対し1時間30分試合終了、前の回の得点にて勝敗を決める事を通告する。

-(1時間30分ルール)-

(3) 点差によるコールドゲームは、3回16点差、4回11点差、5回6点差とする。(下記(6)項の追加により変更)

(4) 同点の場合、引き分けとする。

但し、決勝トーナメント戦で同点の場合、そのまま延長戦を最大2回まで行ない、なおも同点の場合は、最終メンバー9人によるくじ引きにて勝者を定める。

(※補足:同点の場合は延長戦を1回行います。それでも同点の場合はさらに延長を1回行う。

この時点でも同点の場合はくじ引きとなります。)

(5) 暗黒、降雨試合は4回若しくは1時間に満たない場合は再試合とする。

### (6) 5点交代ルール

① 5点目が入ったプレイ終了後にチェンジとする

② 本ルールは原則ブロック戦/トーナメント2回戦までで適用する

《補足》

・当該プレイが終了した段階で5点目が入っていたら交代

既に4点が入っていて満塁の場合、次打者の本塁打で全員がホームを踏んだ場合

4得点(合計4+4=8点)が入る。イニング最大得点数

・トーナメント三回戦以降は当該チーム同士で合意の場合は同ルールを適用してもよい

## 2. 5年生の起用

(1) 5年生はバッテリーに起用してはならない、又代打も5年生の打席にしか起用できない。

(2) 5年生はメンバー表の背番号に○を付けること。

(3) 規約にある通り 5年生の起用は4年生以下の人数不足による救済措置として考え、補強目的で起用しないことを厳守する。

(4) 野球を始めたばかりなど、経験の少ない5年生の経験の場としての起用については、補強目的で無い限りは起用を認めます。ただし、あらかじめ対戦相手の監督の許諾を求めること。

## 3. 投球制限

(1) 球数制限として投球が投げられる回数を制限します

(2) 1選手が当該試合の中で投手として投球できる回数を **3回以内**とする。

《補足》

- ・ 回途中でもマウンドに上がったら1回とカウントします。
- ・ たとえば回の途中交代で投手になった選手が、けん制で第三アウトをとり当該回の投球数が0球であっても1回とカウントします。
- ・ 同様に捕手の負荷も考えられるが現時点では大会規定として捕手の球数制限は考慮しない。各チームは捕手の負荷軽減について配慮すること。

4. 投手板と本塁間は14mとし、塁間は21m・本塁と二塁間は29.7mとする。

ボークは注意のみとし、インフィールドフライは施行しない。

5. その他のルールは野球規則に準ずる。

6. 攻撃側はコーチボックスに監督又はコーチ1名を起用しても良い。但し、ユニホーム着用とする。

7. 各グラウンドにより、特別にルールをきめる場合もある。

8. 使用球は、ナガセケンコーJ号球とする。

9. ベンチは、試合前に話合いの上決める。

10. 各グラウンドのグラウンド作り・整備は遠征したチームが積極的に行うこと。

11. 試合は出場選手の健康を考慮し、1日1試合を原則とする。

12. 試合結果は、グラウンド提供チームがブロック長に報告をする。

13. ホームベースは投手の負担軽減のため一般用を用いても構わない。

2022.3.13 一部改定